地域につたわる音楽をしらべよう。

単元名

日本の民謡

教科書出版社名(教育芸術社)

○ 小学校(4)年 教科等(音楽)

○「自ら学ぶ子どもの育成」に向けて、この単元で付けたい力

(教科等でつけたい力)

- ・歌声や楽器の音色、旋律などによる日本民謡の特徴と曲想のかかわりに気づく力。
- ・日本民謡の特徴やよさを味わって聴いたり、地域に伝わる音楽を調べたりして、郷土の音楽への関心を高める学習 に進んで取り組もうとする力。

(学校図書館等の活用でつけたい力)

- ・複数の資料を活用し、自分の知りたい情報を見つけ出そうとする力。
- ・スライドに、情報をまとめる力。

○ この単元における学校図書館を活用した情報活用能力の育成に向けて

- ●情報収集…児童が選んだ民謡に関連する図書資料から、必要な情報をあつめる。
- ●整理・分析…調べた内容をワークシートにまとめ、民謡の背景や地域性から、どの種類の民謡か分類する。
- まとめ・表現・発信…調べた内容を日本地図に書き込ませ、タブレット端末を用いてスライドにまとめる。 音源を聴いて、児童が記入した感想を発表しあう。

学習の展開(全7時間) (学校図書館等を活用した時間は☆印)

第1次	・富山県民謡の「こきりこ」を聴き、旋律に親しむ。		
(1時間)	・動画を視聴、「こきりこ」の楽器、演奏の様子、歌い方の特徴について関心を持つ。		
第2次☆	・民謡とはどんな歌なのか図書資料で調べる。また、世界中に民謡があり身近な歌に各国の民		
(3時間)	謡があることを知る。		
	・自分が選んだ都道府県の民謡を、図書資料を用いて調べ、歌詞や解説をワークシートに記入		
	する。		
	・タブレット端末を用いて、スライドを作成する。		
	・CD やインターネットで民謡を鑑賞する。		
第3次	・調べた民謡を、日本地図に掲示していく。		
(3時間)	計間) ・音源を聴いてから、調べた内容についてスライドを使って発表する。 ・自分が調べた民謡と比べて、感想を話し合う。		
	・調べた民謡を、リコーダーや打楽器で演奏し、歌う活動をする。		

☆学校図書館等活用(本時)の学習

本時のねらい

民謡とはどんな歌なのか知り、自分の選んだ民謡について、図書資料を使って調べ、ワークシートに記入する。

学習展開

時間 (分)	主な学習活動	指導上の留意点
10	1. 本時のめあてを確認する。	
	自分が選んだ都道府県の民謡について調べよう。	
	・普段はなじみのない民謡について、どういう歌なのか知	・百科事典の「民謡」を、解説を入れて、 図書館活用
	る。	説明し、ワークシートへ記入させる。
	・世界中に民謡があり、幼少期から慣れ親しんでいる歌がたくさんあることを知る。	\ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \
	・日本にも、全国各地で歌いつがれている民謡があること	
	を知る。	
20	2. 社会科・総合的な学習の時間で調べた都道府県の	・自分の都道府県の資料から、民謡の情報
	民謡について、民謡の情報(歌詞、解説)をワーク	だけでなく、地域性や気候、文化、お祭り
	シートに記入する。	などにも注目させる。
		・複数の資料を比較して、調べる。
10	3. 民謡には、労働歌、踊り歌、座興歌、祝い歌などが	・分類が難しいものには、他の図書資料を
	あることを知り、選んだ民謡がどの種類の歌なのか、	紹介し、解説する。
	歌詞内容や解説から考える。	・図書資料をもとに考える。 図書館活用 ポイント
5	4. 本時の振り返りをし、次回の予告を聞く。	・日本地図に書き込み、スライド作成をして、発表の準備をする。

